

春の風物 （2）

～桜とカタクリの花をたずねて里の道に行く～

2013/03/28

今回は、春の風物の2回目として、桜およびカタクリの花をたずねて、千葉市農政センター、大池、泉自然公園（いずれも若葉区野呂町）の三ヶ所を巡るルートをご紹介します。これらはそれぞれ違った特色のあるところです。

千葉市農政センターは農林業の振興のための施設であるが、一般市民も立ち入ることができます。通用門から入って奥の方に行くと農産物の展示直売所があり、地元の生産者が作った新鮮なものを安く買うことができます。

大池は、農業用水の施設（管理者＝千葉市農業環境整備課）で、春は桜、初夏は睡蓮が咲き、市民の憩いの場所になっています。訪れる人も少ない穴場です。

泉自然公園は、「日本さくら名所百選」の一つに選ばれている桜の名所であり、県内で有数のカタクリの群生地として知られている。筆者が訪れた日（3月28日）には、桜もカタクリもほぼ満開でした。また、空飛ぶ宝石といわれるカワセミを見ることができました。

ルートの概要

＜千城台コミュニティセンター＞～千城台西～千城台東～＜県立泉高校金親町入口＞～金親町～北谷津町～＜若葉いきいきプラザ前＞～御殿町～中田町～県道66号を横断～富田町～野呂町～＜千葉市農政センター＞～国道126号を横断～＜大池＞～＜泉自然公園＞～川井町～高根町～＜県立泉高校入口＞～国道126号を横断～北谷津町～金親町～＜若葉いきいきプラザ前＞～＜県立泉高校金親町入口＞～千城台東～千城台西～＜千城台コミュニティセンター＞

【ご注意】 ルートの選定にあたっては、子供連れの家族が走ることを想定して、国道・県道など交通量の多い道路を通行することは極力避けるとともに、そのような道路を横断する場合には、信号のある交差点を通るようにしています。しかし、すべてそうになっているとは限りませんので、常に安全第一で行動してください。サイクリングによって生じた事故は自己責任でお願いします。

千葉市農政センターへ

千城台駅傍の若葉区千城台コミュニティセンター（千城台西2-1-1）前を出発して、最初の目的地である千葉市農政センター（若葉区野呂町714-3）を目指す。

中田町までは、「春の風物（1）」の帰りに通った中田町から千城台駅までのルートを逆に歩く感じだ。

中田町から先は田圃の縁の道を伝ってゆく。曲折を繰り返し道なりに行くと、左側に、手入れの行き届いた林を上るコンクリートの小路がある。その小路を上ってゆくと、農政センターの正門前に至る。正門の左手に同センターの案内板があり、センターを構成するさまざまな施設が図で示されている。正門の右の小路を行くと通用門があることが見て取れる（休日は正門は閉まっていますが通用門から入ることができるので心配無用）。通用門に入って道なりに進むと、農産物の展示直売所がある。センター内のあちこちで桜が見られる。中でも管理事務所前の枝垂桜は美しい。

野呂の大池へ



農政センターの管理事務所前の枝垂桜（２０１３年３月２８日）



田圃の縁を行くと左側にある農政センターへ上る小路の入り口



「千葉市農政センター」の門標がある正門



小路の上に見えるガードレール。その向こうに農政センターがある。



通用門からの道は桜並木になっている



大池の周りの満開の桜（２０１３年３月２８日）

大池に着いたら自転車を適当な場所に自由に停めて散策。池の周りほぼ正方形で、２辺は車道、２辺は遊歩道で囲まれている。遊歩道に沿って桜の木が植えられている。３月２８日に訪れた時には桜はちょうど満開であった。

池では鮎が釣れるそうで釣り人が４・５人釣り糸を垂れていた。スケッチを描いている人もいた。この人とは以前、泉自然公園の近くの道で出会ったことがある。

遊歩道の右側（北側）には駐車場とトイレがある。水洗式の綺麗なトイレ。しかしながら、心無い人が故意に壊してしまったとのことで使用中止になっていた。

遊歩道を行くと右側（北側）の少し高くなったところに東屋があり、腰を下ろして休むできる。

泉自然公園へ



大池で釣りをする人たち



大池にある東屋

大池から泉自然公園へ向かう。大池の南側の道を西へ。台地になると畑が広がっている。畑道を少し進んだら右折して北へ向かう。左の畑の向こうにいろいろ花をつけた木々が見える。やがて外房有料道路にぶつかる。外房有料道路の手前を左折し、次の交差点を右折して橋（「向原口橋」）を渡ったら、左前方にある「トラウトポンド NOIKE」という看板を右に見ながら左折。外房有料道路を左に見ながら坂を下ると右側に釣り堀が見える。それが「トラウトポンド NOIKE」である。池のフェンスに沿って右折し、道なりに進む。谷津田を右に見ながら田圃の縁をしばらく行くと左の林に上る小路がある。この林道は、人の往来はごく少ないとみえて、舗装した道ではあるが、枯れ葉や枯れ枝が散乱しているので気を付けながらゆっくり進む。上りきった辺りに三叉路がある。左折すると間もなくT字路に突き当たる。そこを右折すると左に泉自然公園の正門がある。



泉自然公園の枝垂桜（2013年3月28日）

泉自然公園の正門に入って左奥にある駐輪場に自転車を停めて散策する。園内の散策路を行くと間もなく左手に枝垂れ桜が見える。さらに進むと広大なお花見広場。

林間の草地には、イチリンソウ、ニリンソウ、タチツボスミレなど野草が咲いていた。中でも、薄紫色をしたカタクリの花の群生は見応えがある。

園内を一周して「下の池」に差し掛かったら写真を撮る人の人だかりがあり、何かと思ったら、カワセミを撮影している人たちだった。カメラが向けられている先を見ると、木の枝にカワセミが留まっていた。

広い園内はどこを歩いても、広い割に人は少ない。



泉自然公園のお花見広場の桜（2013年3月28日）



泉自然公園に群生するカタクリ（2013年3月28日）

千城台へ

泉自然公園の散策を終えたら、サイクリングコースに沿ってゆっくり走り、「下の池」を経て園外へ出る。国道126号線に沿っている都川の田圃の縁の道に行く。「県立泉高校入口」交差点で国道126号を横断し坂を上って「県立泉高校前」交差点を左折。道なりに進み、「若葉いきいきプラザ前」、「泉高校金親町入口」交差点を経由して出発地（千城台コミュニティセンター）に戻る。